

エコけんニュース

No. 39 2002. 10.

連絡先 NPO法人エコけん事務局 ☎ 092-943-0129 発行責任者 清水佳香

プラスチック回収は **11/10 (日)** 12/8 (日) *第2日曜日

舞の里1丁目集会所 8:30~10:00

舞の里小学校玄関前 9:00~11:00

※ 雨天：集会所内、舞小体育館にて回収。

内容物を取り出して、水気を切って持ってきて下さい。

10月13日(日) プラスチック回収報告

ご協力ありがとうございました。

参加世帯数						回収量	カンパ
331						115ふくろ (1,032kg)	19,662 円
1丁目	2丁目	3丁目	4丁目	5丁目	その他		
70世帯	41世帯	26世帯	54世帯	89世帯	54世帯		

古賀市の家庭系可燃ごみ*が減っています!

*小規模事業所の可燃ごみを含む

古賀市の「環境課」におたずねしました。

ごみは右肩上がりに増えていくと論じられることも多いのですが、古賀市の1日1人あたりの家庭系可燃ごみは、2年連続で減っているそうです。みなさんの取り組みの成果であるといえるのではないのでしょうか。



4人家族・1日で
116g減!



1年で
約42kg減

地球温暖化を考える ～3～

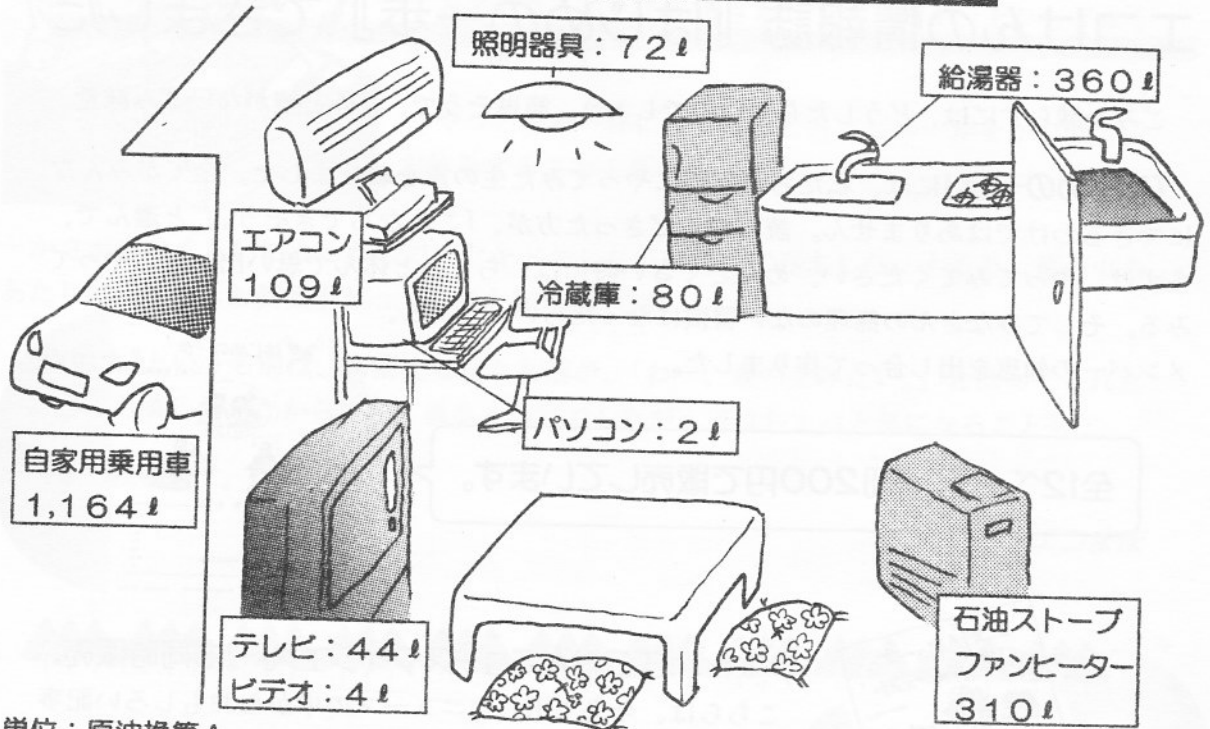
地球温暖化の原因、CO₂は私たちの今の生活スタイルを続けていく限り、増えこそすれ、減っていかないらしい、ということがわかってきました。つまり、私たちに必要なのは、これまでの生活スタイルをちょっと振り返ってみることのようです。

いい方を変えるならば、CO₂は化石燃料を燃やした後の、最終的な、目には見えない、でも確実に存在する「ごみ」。まさに地球温暖化の問題は、化石燃料における「ごみ問題」、といえそうです。

だとしたら、エネルギーの使い方の工夫は、減らす工夫、ごみを減らす方法の中にもヒントがありそうです。

「わが家の化石燃料のムダ省き (=ダイエット)」は、どこに見つかるでしょう。

1世帯あたりの年間エネルギー消費 (1998年度)



単位：原油換算

参考資料：省エネルギーセンター『今後の省エネルギー対策について』

「やりやすいところから、今すぐ始める」、そんな小さな実践は、地球規模から見れば悲しくなるほどのスピードかもしれません。しかし、急速なCO₂排出の増加に至ったのは、わずか10数年前だったという事実は重いものがある気がしてなりません。

これまで3回にわたり地球温暖化について考えてきました。

まずは、たった今できることから、始めてみませんか？

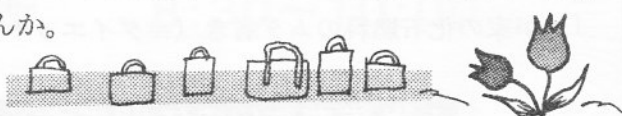
だれにでもできる「おちょこ1杯分」の貢献

地球温暖化は、地中の化石燃料を地上で燃やすことで進んでいます。レジ袋に使われる石油は、およそおちょこ1杯分。マイバックを持ってお買い物に行くと、地球の負担をほんの少し、でも確実に減らすことができます。



マイバック持参には、レジ袋代金相当の還元をしているお店もあります。

だれにでもできる小さな貢献『マイバックを持ってお買い物』、実行してみませんか。



エコけんの情報誌『はじめの一步』できました

ごみを減らすには、どうしたらいいのでしょうか。簡単そうで、意外と続かないごみ減量。

『はじめの一步』には、私たちが実際にやってみた生の声を載せました。全てがみんなにできるわけではありません。読んでくださった方が、「これならできそう。」と選んで、まずは、やってみてください。めんどくさい時には、ちょっと休んで思い出したらやってみる。そしてみなさんの無理のない習慣になったらいいなあと、メンバーの知恵を出し合って作りました。

全12ページ。1冊200円で販売しています。



また、『エコけんニュースダイジェスト』も同時販売。こちらは、今まで出したニュースの中からおもしろい記事などをピックアップした、スクラップ版です。

全16ページ。1冊50円で販売しています。

どちらも事務局にお電話くださるか、プラ回収会場に置いてありますので、ご利用下さい。



静かな「森の土」 その2. 森の土誕生



たくさんの腐葉土を使いつつ、その『素』を捨てる矛盾に困った私は、図書館でちょっと調べてみました。すると、割と簡単に腐葉土って作れそうなんです。ただ、完成までにゆっくり時間がかかるみたいなので、参考にする本を1冊買いました。「ベランダ・庭先でコンパクト堆肥」という本を選んだのは、『都会は堆肥材料の宝の山』なんて書いてあって、とにかく前向きな所が気に入ったからです。



楽観的でおおざっぱな私は、とにかくやってみることにしました。木の箱の中で、剪定した枝や葉っぱ、草に米ぬかをまぶしながら重ねていきます。気まぐれに鶏糞も入れてみました。もちろん雨ざらしです。時々、上からぎゅうぎゅう踏みます。

やっと箱が一杯になったところでビニールをかぶせて、お休みすること10ヶ月。

かさが半分くらいになったので、ドキドキしながら開けてみました。すると、箱の中央あたりに黒々とした腐葉土が...『森の土』の誕生です。

『森の土』という名前は、腐葉土を見た友達が、「わー、森の土みたい。」とほめてくれたのがとても嬉しかったからです。鼻高々の私でしたが、実はちょっと気になることも...

次号に続きます。

エコまま



～事務局より～

❖ 10月13日(日)古賀市中央公民館で開催された「古賀市環境フォーラム」で、パネリストとして参加しました。会場では、展示等行いました。